

時間割

※座席は指定となります。
 ※休憩時間は10分、昼休みは1時間(12:10～13:10)です。

【必修領域講習】講習名:②教育の最新事情(幼稚園) (板橋キャンパス)

月日	時限	タイトル	概要	担当者	講座形式	認定方法	持ち物・連絡事項	
8/6 (火)	1限	9:00～10:30	国の就学前教育施策と諸外国のECEC(乳幼児期の教育とケア)の動向	就学前教育を中心に、教育に関するさまざまな法令の改正と、そのことが教育現場にどのような変化をもたらしているのか、あるいは法令改正の背後にあった各種審議会での議論を詳しくたどることによって、改正の背景と趣旨を理解することが、この科目の主たる内容である。さらに、諸外国のECEC(乳幼児期の教育とケア)の動向についても概観していく。	渡部晃正	講義	筆記試験	特になし
	2限	10:40～12:10	教職についての省察(専門職たる幼稚園教諭の役割)	保育の実践事例を題材に考察し、議論することを通して、遊びを通した幼児期の学びを教育職としてどのように育てることができるかを考える。また、幼児期の教育を支える教師の専門性の研究についても概観し、特に、自身の専門性について振り返るとともに、新任の教員の専門性の育ちを支える役割を意識しつつ討議する。その議論の過程を通してで、教職者として順守すべきことや倫理観についても考えていく。	戸田雅美	講義	筆記試験	特になし
	3限	13:10～14:40	子どもの生活の変化を踏まえた適切な指導の在り方	多様化する社会の中で、学級においてもさまざまな子どもたちとの出会いがある。その子どもたち一人一人が安心して過ごすことのできる集団を形成し、互いに関心を寄せあいながら力を発揮できる学級づくりをめざしたい。そのための学級担任の役割について議論することを通して考える。さらに、カウンセリングマインドの重要性を再認識していく。	榎本眞実	講義	筆記試験	特になし
	4限	14:50～16:20	子どもの発達についての理解(幼児の心理学と特別支援教育の最新知見)	幼稚園等の生活や遊びの中で、困難を示す子どもの存在が話題になっている現状を取り上げる。子どもが抱える困難の背景について、発達と障害の視点から考察することで子ども理解を深める。また、子どもを客観的に捉えるだけでなく、困っている子どもの状況を共感的に理解し教育的対応を考える中で、幼児期の特別支援教育に求められる視点を学んでいく。	荒井庸子	講義	筆記試験	特になし

※認定方法は「筆記試験」「実技考査」「口頭試験」「その他(試験方法を明記)」のように履修認定は試験により行う。

※試験は本人確認ができる形態で行う。

***講習内容が変更になる場合もあります。ご了承ください。**